

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	地方道路整備臨時貸付金		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	道路局 等		担当課室	企画課 等	課長 徳山日出男 等	
会計区分	社会資本整備事業特別会計(道路整備勘定)		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置 に関する法律第3条		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	・ 地域格差への対応や生活重視の視点から、地方の自主性にも配慮しつつ、地域のニーズを踏まえた、真に必要な道路整備を促進することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	道路事業の地方負担の一部に対して、地方公共団体へ無利子で貸付を行う。 ・ 対象団体 : 前年度に普通交付税の交付を受けた地方公共団体 ・ 対象事業 : 直轄事業、補助事業の地方負担の一部 ・ 償還期間と方法 : 20年以内(据置期間5年以内含む)、均等年賦償還 ・ 期限 : 平成20年度以降5箇年間					
実施状況	<平成21年度の実施状況> 【貸付団体】 150団体(都道府県 43団体、政令市 10団体、市町村 97団体) 【貸付事業】 5,050件(直轄事業 863件、補助事業 4,187件)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	100,000	100,000	80,000	-
	執行額	-	96,350	60,614		
	執行率	-	96.3%	60.6%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	・ 国より地方公共団体に対し、貸付を行い、地方公共団体にて執行している。 ・ 各年度において、各地方公共団体から予算要望額等を聞き取るにより、使途の把握を行っている。 ・ また、貸付金の貸付にあたっては、貸付金貸付申請時に使途の把握を行うとともに、実績報告書により実績の把握を行っている。				
	見直しの 余地	・ 今後とも地方公共団体のニーズを踏まえ、効率的な予算執行を図っていく。				
予算 チームの 監視の 効率化						
補 記	※「執行額」には前年度からの繰越額等を含むため、「執行率」が100%を超える場合がある。 【予算科目】 (21年度予算額) (21年度決算見込額) 20 地方道路整備臨時貸付金 42052-959-00 地方道路整備臨時貸付金 100,000百万円 60,614百万円					

※交付決定ベースにて作成

国土交通省
65,279百万円

{ 無利子貸付 }



【補助(貸付)】

A.地方公共団体(150団体)
65,279百万円

{ 道路事業の地方負担の一部
に対して、国から無利子で貸
付を受ける。 }

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目
 の双方で実情が分かるよう
 に記載)

A.北海道			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
無利子貸付金	道路事業の地方負担の一部に対する費用	5,279			
計		5,279	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

A地方公共団体 65,279百万円

No.	支出先	金額 (百万円)
1	北海道	5,279
2	新潟県	3,306
3	大阪府	2,542
4	千葉県	2,400
5	兵庫県	2,343
6	埼玉県	2,085
7	福島県	2,043
8	茨城県	1,812
9	和歌山県	1,800
10	岐阜県	1,788